

令和5年度 事業計画

1. 基本方針

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、コンソーシアムの活動もここ数年大きな影響を受けた。しかし行動制限もなくなり大学の学習環境やキャンパス内外の学生生活が元に戻りつつある。そのような状況において、これまでの歩みを止めぬよう、感染防止に十分に配慮した上で、ウィズコロナ時代に対応した事業を展開する。

また、国連で採択されたSDGsの普及推進をさらに進めて、各大学等において取り組む学生活動について情報を共有するとともに、県内の大学等や学生が連携した事業を実施する。

なお、近年支出超過が続いている状況に鑑み、令和5年度の事業計画においては上記の基本方針は維持しつつ状況に合わせた内容の見直しを行い支出精査するとともに、自治体等に対して積極的にコンソーシアム加盟を働きかけ収入増を図る。

また、同年度において、今後収入に見合った事業規模となるよう事業の全体的な見直しを行うものとする。

2. 事業の実施

() 内は前年予算額

(1) 大学地域連携課題解決支援事業 【2,600,000 円】 (2,904,000 円)

1) 方針

- ① 地方創生にふさわしい持続可能なまちづくり、歴史に学びながら未来を切り拓くまちづくりを進めるため、地域の課題解決に大学と地域（自治体や地域住民など）と連携して取り組む大学地域連携課題解決支援事業の効果的な実施に取り組む。
- ② 令和4年度に新規採択した事業については、その成果を大学と地域が共有し教育研究等の活性化やコンソーシアム全体としての情報発信に寄与しているかという観点で精査し、2年目の事業予算を措置するとともに、令和5年度の新規事業についても申請内容を精査し選考を行う。
- ③ 「環びわ湖大学地域交流フェスタ」を開催し、支援事業の中間報告会を行い、各事業の進捗状況を確認する。

2) 予算案

- | | |
|---------------------|--------|
| ① 大学地域連携課題解決支援事業助成金 | 240 万円 |
| ② 支援事業選考委員会経費 | 20 万円 |

(2) 学生支援事業 【750,000 円】 (1,900,000 円)

1) 方針

- ① 令和２年度からの事業のコンセプト「学生による滋賀のＳＤＧｓや地域の魅力の発信」を継承し、地域の魅力発信に貢献する事業を展開する。
- ② 令和４年度に続き滋賀県下のいずれかで人々や特産物、自然と触れ合えるような現地プログラムを行い、滋賀への学びを深める内容にしたい。
- ③ 滋賀県内の１４大学から選出された学生で複数のチームを編成し、コンセプトに沿った活動を行う
- ④ 活動の成果物としては、学生がＳＤＧｓマップを作成し、ホームページに掲載する。

2) 予算案

75 万円

(3) 留学生事業 【 670,000 円 】 (900,000 円)

1) 方針

- ① 滋賀県内の大学等に在籍する外国人留学生、大学等の教職員、国際交流団体等が一堂に会し、互いに語り合い交流できる場、留学生が集える場として、滋賀県留学生のつどいを開催する。
- ② 滋賀県内の大学に在籍する外国人留学生を対象に、日本で働くための就職活動や留学生の就職と在留資格など、日本で就職活動を行う留学生のためのガイダンスを実施する
- ③ 滋賀県外国人材受入サポートセンターと協力して、留学生等外国人材向け合同企業説明会を開催し、より多くの外国人留学生の参加を促す。
- ④ 県内の大学職員を対象に、申請等取次者としての承認を受けるための研修会を大学コンソーシアム京都と協力して開催する。

2) 予算案

- | | |
|----------------|-------|
| ① 滋賀県留学生のつどい | 55 万円 |
| ② 留学生就職活動ガイダンス | 10 万円 |
| ③ 申請等取次研修会 | 2 万円 |

(4) 就職支援事業 【 150,000 円 】 (250,000 円)

1) 方針

- ① 「学生の県内就職準備活動の支援」に活動の重点を置き、「しが就活塾」開催にあたっては滋賀県、関係機関等と合同で取り組むとともに、インターンシップの促進や学生の就職促進について、県の取り組み等を支援する。
- ② 学生の就職に直結する事業として、行政機関、経済団体等と協力し、滋賀県内の優良企業について、広く学生に認知を促すとともに、県・市・経済団体等が開催する合同企業説明会、就職面接会等に共催・協力として取り組む。

- ③ 学生の就職準備支援に関する事業として、就職年次生だけではなく低年次生にも地元企業の魅力に触れる機会を創出することを目的とした事業を継続して実施する。
- ④ 地元優良企業への採用と定着を踏まえ、学生の就職支援に繋げることを目的としての大学就職担当者と企業人事採用担当者との情報交換事業、就職担当者の力量向上のために外部講師等を活用した研修会としての大学就職担当者間の情報交換事業を企画し実施する。

2) 予算案

- | | |
|------------------------|--------|
| ① 学生の就職準備事業（「しが就活塾」） | 7.5 万円 |
| ② 大学就職担当者・企業人事担当者情報交換会 | 2.5 万円 |
| ③ 大学就職担当者の研修会 | 5 万円 |

(5) 単位互換事業 【 1,000,000 円】（ 1,400,000 円）

1) 方針

- ① 単位互換事業として、各大学から提供される科目の単位取得事務を継続する。
- ② 事業告知のポスター・パンフレットを作成し、出願者の募集を行う。
- ③ 大学連携・地域連携型PBL科目として開設した「おうみ学生未来塾」を継続する。

2) 予算案

- | | |
|--------------------------------|-------|
| ① 広報（ポスター、パンフレット印刷） | 40 万円 |
| ② 「おうみ学生未来塾」開講助成（ 300 千円×2 大学） | 60 万円 |

(6) 広報事業（事務局担当） 【 93,000 円】（ 675,000 円）

1) 方針

ホームページでの情報発信を継続して行うとともに、各事業を推進するための広報や、加盟大学・短期大学、滋賀県、各市の各種イベント案内や参加者募集などの広報の支援を行う。

2) 予算案

- | | |
|----------------|--------|
| ① ホームページの管理・運営 | 7.5 万円 |
| ② 広報資料の配布 | 1.8 万円 |

(7) 全国大学コンソーシアム協議会事業 【 102,000 円】（ 150,000 円）

- | | |
|------------------------|--------|
| ① 協議会会費 | 3 万円 |
| ② 研究交流フォーラム 参加費・資料費・旅費 | 4 万円 |
| ③ 報告書購入費・送料 | 3.2 万円 |

(8) 滋賀県受託事業 (予定) 【 1,300,000 円】 (1,300,000 円)

3. 管理運営

(1) 顧問料 【 398,000 円】 (398,000 円)

顧問から、引き続き滋賀の高等教育や地域連携などの今後の方向とそれに対するコンソーシアムの活動について指導、助言を受けるため、月額3万円の相談料及び交通費を計上する。

なお、顧問に関しては、すべて事業費とする。

(2) 事務所管理費 【 3,140,000 円】 (2,834,000 円)

滋賀大学大津サテライトと共同利用の日本生命大津ビルの定期賃貸契約を予算化する。

現在の賃貸借契約が令和5年9月30日をもって契約期間が満了し、10月から再契約となる。家賃と敷金ともに10%の値上げが見込まれる(現在、滋賀大学と管理会社との間で交渉中)。

なお、事務所負担金、通信費等に関しては事業費と管理費を8:2で按分する。看板掲出料はすべて管理費とする。

○賃料

令和5年4月～令和5年9月 月額 189,799×6月=1,138,794 円

令和5年10月～令和6年3月 月額 212,648×6月=1,275,888 円

敷金 (再契約上乗せ分) 210,920 円

合計 2,625,602 円

事業費 2,100,482 円 管理費 525,120 円

○通信費等 250,000 円

事業費 200,000 円 管理費 50,000 円

○看板掲出料 (月額 20,000 円+税) ×12 月=264,000 円

管理費 264,000 円

令和5年度 大学地域連携課題解決支援事業部会 事業計画

1. 事業方針

本コンソーシアムは「持続可能な開発目標に向けて」と題する第3ステージ宣言を行い、SDGsの達成を大きな共通目標として、これまで以上に多様で新しい連携・協働を進め、実り多い成果を積み重ね、滋賀の地域の発展に貢献していくことを表明している。

本部会においても、地方創生にふさわしい持続可能なまちづくり、歴史に学びながら未来を切り拓くまちづくりを進めるため、地域の課題解決に大学と地域（自治体や地域住民など）が連携して取り組む大学地域連携課題解決支援事業の効果的な実施に取り組む。

また、これらの事業を活用して、地域住民や自治体と大学・学生との交流の活性化など、双方が共に発展できる機会を創造する。

2. 主な取り組み

○大学地域連携課題解決支援事業（継続）

令和4年度に新規採択した事業（9件）については、中間報告会や報告書により進行状況を確認し、その成果を大学と地域が共有し教育研究等の活性化やコンソーシアム全体としての情報発信に寄与しているかという観点で精査し、より充実した成果が望める事業に限り2年目の事業予算を措置する。加えて令和5年度の新規事業についても申請内容を精査し選考を行う。

（事業概要等）

- ・地域における様々な課題の解決に向けて、大学と地域が協働で取り組む教員と学生の活動、学生同士の活動に対して、活動助成を行う。
- ・1プロジェクトの支援額は単年度15万円を上限とし、採択件数に応じて支援額を調整する。
- ・助成対象はコンソーシアムに加盟する自治体（滋賀県、大津市、彦根市、長浜市、草津市、甲賀市、東近江市）と連携する事業とする。単年度もしくは2年の事業計画を提出してもらい審査を行う。
- ・11月頃に「環びわ湖大学地域交流フェスタ」を開催し、支援事業の中間報告会を行い、各事業の進捗状況を確認する。
- ・「環びわ湖大学地域交流フェスタ」について、各事業（学生）間の交流を促す方策等の実施内容について部会で精査を続けていく。

（令和5年度事業スケジュール）

令和5年1月6日～2月17日 支援事業募集期間

3月中	選考委員会において採択（助成金）の審議、部会で決定
4月～3月	支援（助成）期間
11月～12月頃	中間報告会(環びわ湖大学地域交流フェスタ)
3月中旬	報告書提出

3. 事業予算案 260 万円

<内訳>

大学地域連携課題解決支援事業助成金 240 万円 (240 万円)

支援事業選考委員会経費 20 万円 (20 万円)

大学地域交流フェスタ事業費

→令和4年度同様オンラインで開催する 0 万円 (30.4 万円)

合計 260 万円 (290.4 万円)

※ () は令和4年度予算

以 上

2023（令和 5）年度学生支援事業計画について

（事業計画概要）

1. 2023 年度学生支援事業計画について

2022 年度の学生支援事業は、2020 年度からの事業コンセプト「学生による滋賀の SDGs や地域の魅力の発信」を継承し、「びわ湖から考える、滋賀の食と地産地消」を年度テーマとした。

プログラムは、レクチャーやフィールドワークを経て、テーマに沿った特色ある SDGs に関する取り組みを行う企業や団体、個人を選定し、現場を訪問して取材を行い記事に纏めた。これらの記事をブックレットとしてとり纏めた上で、取材の成果発表会を実施した。

2023 年度は、事業のコンセプト「学生による滋賀の SDGs や地域の魅力の発信」を引き続き継承し、滋賀県の魅力発信と参加者の SDGs 意識・知識の向上に資する事業を展開する。

また、2022 年度参加学生によるプログラムの感想において、「人と関わる楽しさ」「交流」「貴重な体験」などのキーワードで評価が高かったことから、前回に続き滋賀県下のいずれかで人々や特産物、自然と触れ合えるような現地プログラムを行い、滋賀への学びを深める内容にしたい。

（1）コンセプト・テーマ

コンセプト 「学生による滋賀の SDGs や地域の魅力の発信」

年度テーマ （仮）「現地プログラムを通じた滋賀の魅力の体感」

（2）目的

- ① 地域の人々との交流を通して地域の特性を理解する。
- ② 国連の「持続可能な開発目標」（SDGs）について学ぶ。
- ③ 学生が大学の垣根を越えて交流・学習する。
- ④ 琵琶湖だけではない滋賀の奥深い魅力や特長を認知し、発信する。
- ⑤ 事業の取り組み、成果を幅広い層に発信する。
- ⑥ プロジェクトでの取り組みを通じて、学生の学びと成長に寄与する。

（3）活動内容

滋賀県内の 14 大学から選出された学生で複数のチームを編成し、コンセプトに沿った活動を行う。具体的には、滋賀県内での現地プログラムの実施を中心とし、その前後に SDGs に関する事前研修や発表・振り返りを実施する。活動のサポートは専門の業者に委託する。

活動の成果物としては、学生が SDGs マップを作成し環びわ湖大学・地域コンソーシアムのホームページに掲載する。

(4) 事業の進め方

①参加学生の募集

各大学2名を目安として事業に参加する学生を選出する。募集期間を一定期間設け、できる限り全加盟大学から選出することを目指す。

②各大学におけるSDGs関連事業の取り組みの紹介

参加学生が自身の所属大学でのSDGsに関する活動を調査し、SDGsマップを作成する。

③活動紹介の制作

活動の様子を写真に収め、環びわ湖大学・地域コンソーシアムのホームページに掲載する。

④実施方法

全て対面で実施する。コロナウイルスの状況によっては、一部オンラインで実施する。

⑤次年度に向けた効果検証

2023年度学生支援事業の到達点と次年度に向けた課題について振り返りを行う。

(5) 事業の実施体制

①事務局：学生支援事業 担当校：(主)龍谷大学 (副)滋賀大学・聖泉大学、各参画大学

②業務委託：昨年度の実績をふまえ、一般社団法人インパクトラボへSDGsに関する講座、現地活動等に係る学生支援の業務を一括で委託する。

2. 予算

2023年度学生支援事業 予算 750,000 円 (1,900,000 円)

※ () は 2022 年度予算

3. 今後のスケジュール (案)

6月1日～30日	学生委員会 参加学生 募集期間
7月7日(金)	プログラム受講者へ連絡
7月16日(日)	事前 研修プログラム(講義とワークショップ)
9月16日(土)-17日(日)	現地プログラム
10月1日(日)	事後 振り返りプログラム(発表と振り返り)
12月	大学地域交流フェスタ参加(一部)(予定)

スケジュールについては、全加盟大学からの参加を目指し、上記のスケジュールでの対応が可能かを次年度改めて調整するため、上記の日程を大きく変更する場合もある。

以上

留学生事業部会 令和5年度事業計画

1 事業計画

(1) 滋賀県留学生のつどい

滋賀県内の大学等に在籍する外国人留学生、大学等の教職員、国際交流団体等が一堂に会し、互いに語り合い交流できる場、留学生が集える場として、滋賀県留学生のつどいを開催する。

ア 開催時期（予定）

2023年11月～12月頃

イ 対象者

各大学留学生、留学生交流企画団体学生、大学関係者

ウ テーマ

未定（日本の文化、企業等に触れることのできる企画）

エ 過年度の取組（令和3年度以前は滋賀県留学生交流推進会議）

- ・ 令和4年度 三井寺、石山寺、瀬田川クルーズを実施
- ・ 令和3年度 （株）福井製作所を視察
- ・ 令和2年度 留学生にとって必要な支援をテーマとしたオンライン交流
- ・ 令和元年度 パナソニック（株）アプライアンス社を視察
- ・ 平成30年度 「節分の日本食文化」調理実習

(2) 留学生就職活動ガイダンス

滋賀県内の大学に在籍する外国人留学生を対象に、日本で働くための就職活動や留学生の就職と在留資格など、日本で就職活動を行う留学生のためのガイダンスを実施する。ガイダンスは、7月および12月に開催予定。

ア 日時（予定）

2023年7月、12月頃の2回開催

イ 場所（予定）

滋賀大学およびZOOM（対面およびオンラインによるハイブリット開催）

ウ 対象者

県内大学に在籍する外国人留学生

エ 内容（案）

講演1：日本で働くための就職活動について

講演2：安定した在留資格を得るために

講演3：内定を得た留学生および既に日本で就職している卒業生による就活体験談等

講演4：外国人の採用実績がある企業の採用担当者による外国人に求める職種や採用ポイントについて

講演 5：就職内定者や卒業生へのインタビュー

質疑応答

(3) 留学生等外国人材向け合同企業説明会 新規

滋賀県外国人材受入サポートセンターは、県内事業者および県内で居住、勤務またはこれらの予定がある外国人向け相談窓口として、滋賀県が設置・運営する支援機関であり、県内事業者と留学生等の優秀な外国人材の出会いの場を創出するため、合同企業説明会を開催している。

同説明会は、留学生に日本で活躍するポジティブな印象や多様な活躍の方法を示し、自身が活躍するイメージに幅を持たせるなど、留学生のキャリア形成に資することから、滋賀県外国人材受入サポートセンターと協力して開催し、より多くの外国人留学生の参加を促す。

ア 日時

未定（今年度は10月15日（土）に開催）

イ 主催

滋賀県外国人材受入サポートセンター

ウ 場所（予定）

オンラインおよび県内の会場（今年度はピアザ淡海）

エ 説明会の参加対象者

滋賀県での就職を検討している留学生（大学・大学院・短期大学・専門学校等）

JET プログラム参加者、一般外国人求職者等（今年度は121名が参加）

オ 参加費

無料

(4) 申請等取次研修会 新規

外国人留学生の在留期間の更新許可申請や在留カードの変更手続については、出入国在留管理局に留学生本人が出頭することを原則としているが、例外として、地方出入国在留管理局長が適当と認める者は外国人留学生の取次ぎを行うことができる（申請等取次者）。

申請等取次者としての承認を受けるためには、外国人の入国・在留手続に関する知識を有していることの疎明資料が必要になるため、県内の大学職員が在留手続を円滑に行えるよう、大学コンソーシアム京都と協力して研修会を開催する。

ア 日時（予定）

2023年7月頃

イ 主催

留学生スタディ京都ネットワーク

ウ 場所（予定）

オンラインまたはキャンパスプラザ京都

エ 対象者

申請等取次者の資格を希望する県内大学の教職員

オ 参加費

無料

2 調査・広報活動

滋賀県の留学生数の推移、滋賀県内大学における在籍身分・出身国（地域）別の外国人留学生数等を調査し、結果を構成員で情報共有する。また、留学生の紹介や交流事業などの活動をホームページで広く公表する。実施にあたっては、環びわ事務局と連携して行う。

3 予算案

（１）滋賀県留学生のつどい 55 万円（ 80 万円）

（２）留学生就職活動ガイダンス 10 万円（ 10 万円）

（３）申請等取次研修会 2 万円（ 0 万円）

計 67 万円（ 90 万円）

※（ ）は令和４年度予算

2023(令和5)年度 就職支援事業部会 事業計画

令和4年度は、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症による新卒者の就職活動への影響が少なからず見られた。滋賀での就職を考える学生にとって企業との接点となる重要な機会である合同企業説明会、就職面接会等においては、新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、感染対策を徹底することにより一部を除き開催されたことから、学生に対して積極的に情報提供をおこなった。また、「しが就活塾」などのイベントに滋賀県、関係機関と協働して取り組んだ。

令和5年度についても、引き続き、「学生の県内就職準備活動の支援」に活動の重点を置き、「しが就活塾」開催にあたっては滋賀県、関係機関等と合同で取り組むとともに、インターンシップの促進や学生の就職促進について、県の取り組み等を支援する。

1 学生の就職に直結する事業

行政機関、経済団体等と協力し、滋賀県内の優良企業について、広く学生に認知を促すとともに、より多くのマッチングを実現するために引き続き、県・市・経済団体等が開催する合同企業説明会、就職面接会等に共催・協力として取り組む。

<令和5年度開催計画>

令和4年度は、イベントの大半が新型コロナウイルス感染症の対策を徹底することで従来どおり開催された。また、オンライン併用など学生の利便性に合わせた形態で開催されるイベントもあった。

令和5年度においても、新型コロナウイルス感染症の先行きが不透明な状況ではあるものの、オンライン開催を含め、学生への情報提供などを積極的に協力していく。

○令和4年度開催実績

- ・協力：滋賀県全域 3回、大津地区 2回、甲賀・湖南地区 1回
 - ・その他（広報協力）：彦根地区 2回、東近江地区 1回、湖北地区 2回
- 計 11回

2 学生の就職準備支援に関する事業

学生の就職準備として、就職年次生だけではなく低年次生にも地元企業の魅力に触れる機会を創出することを目的とし平成24年度から開始した事業であり継続して実施する。過去の事業実施成果としては、以下のとおり。

平成25年度 企業訪問会 ※平成25年度以降、滋賀県中小企業団体中央会と協力
平成26年度 企業訪問会、ミニインターンシップ
平成27年度 企業訪問会、滋賀の企業研究セミナー
平成28年度から令和元年度 「環びわ・しが就活塾」 業界研究、ワークショップ
令和2年度 「しが就活塾」 業界研究、ワークショップ（オンライン開催）

令和3年度 「しが就活塾」 業界研究会（オンライン開催）

令和4年度 「しが就活塾」 業界研究会（オンライン開催）

※企画内容については、滋賀県商工観光労働部と協議し決定する。

3 大学就職担当者と企業人事採用担当者との情報交換事業

地元優良企業への採用と定着を踏まえ、経済2団体（滋賀経済産業協会、滋賀県中小企業団体中央会）を通じて企業人事採用担当者と加盟大学就職担当者との情報交換を行い、学生の就職支援に繋げることを目的として開催する。

4 大学就職担当者間の情報交換事業

令和4年度は、各大学の就職担当者向けに、①「これからの大学の就職支援の在り方について」、②「これからの大学の就職支援について」、③「県内就職促進に向けた行動宣言」をテーマにした研修会を開催した。令和5年度も加盟大学の意見や要望を集約して、就職担当者の力量向上のために外部講師等を活用した研修会を企画し実施する。

5 就職支援関係機関連絡会議

大学生の県内就職の現状ならびに関係機関および大学の取組について、必要に応じて情報共有し意見交換を行う。

6 予算案

就職支援事業

(1) 合同企業説明会の支援	0 円 (0 円)
(2) 学生の就職準備事業（しが就活塾）	75,000 円 (150,000 円)
(3) 大学就職担当者・企業人事担当者情報交換会	25,000 円 (50,000 円)
(4) 大学就職担当者の研修会	50,000 円 (50,000 円)
(5) 就職支援関係機関連絡会議	0 円 (0 円)
合計	150,000 円 (250,000 円)

※（ ）は令和4年度予算

以 上

2023(令和5)年度 単位互換事業部会 事業計画

1. 2023 年度担当校

主担当校:立命館大学

副担当校:龍谷大学・びわこリハビリテーション専門職大学

2. 2023 年度環びわ湖大学・地域コンソーシアム単位互換事業計画

2023 年度の単位互換事業については、2022 年 11 月 9 日(水)に開催された「第 2 回単位互換事業委員会・教務担当者合同会議」にて審議され、基本的には本年度と同様に実施することで承認された。会議において、各大学の遠隔授業の実施状況が確認され、遠隔授業が開講されている大学においては科目提供時に遠隔授業科目の提供を検討するよう依頼された。また、出願票等の各種フォーマットは本年度と同様に作成、事業告知に使用するポスター・リーフレットはデザインを一新して作成することとされた。現在は下記の「2023 年度 単位互換事業開講・出願スケジュール」に則り、シラバス原稿の作成等に着手している。

《 2023 年度開講・出願スケジュール 》

月日		教務日程	備考
1 月 30 日(月)	【開講準備】	2023 年度提供科目報告期限	所定フォーマット
2 月 27 日(月) 【厳守】		2023 年度開講科目シラバス最終原稿締切	
3 月中旬		2023 年度「募集ガイド」HP掲載	
4 月上旬	【出願・募集】	募集ガイダンス・出願受付	
～4 月 6 日(木)		出願受付 <各大学> ※許可発表以前に開講される科目は、仮受講を認める。	各大学の状況に応じて設定
4 月 10 日(月) 17:00【厳守】		「出願票」提出期限 <各大学→科目提供大学>	所定フォーマット
4 月 11 日(火) ～ 4 月 17 日(月)		出願者の選考 <科目提供大学>	
～4 月 18 日(火) 17:00【厳守】		【出願受付】選考結果連絡 <科目提供大学→学生所属大学、事務局大学>	所定フォーマット
4 月 19 日(水) ～ 4 月 20 日(木)		【出願受付】許可発表 ※各大学の状況に応じてこの日までに設定。	
随時		受講登録	所属大学で随時
4 月 24 日(月) ～ 5 月 2 日(火)	【追加募集】	追加募集対象科目の選考 <科目提供大学>	

5月8日(月) 17:00【厳守】	【追加募集】	追加募集対象科目の報告 ＜各大学→事務局大学＞ ※夏期集中・後期科目を対象とする。	所定フォーマット
5月10日(水)		追加募集対象科目一覧の送付 ＜事務局大学→各大学＞	
5月17日(水) ～ 6月1日(木)		追加募集受付 ＜各大学＞ ※許可発表以前に開講される科目は、仮 受講を認める。	各大学の状況に 応じて設定
6月5日(月) 17:00【厳守】		追加募集「出願票」提出期限 ＜各大学→科目提供大学＞	所定フォーマット
6月6日(火) ～ 6月13日(火)		追加出願者の選考 ＜科目提供大学＞	
～6月15日 (木) 17:00【厳守】		追加募集選考結果連絡 ＜科目提供大学→学生所属大学、事務 局大学＞	所定フォーマット
6月16日(金) ～ 6月23日(金)		許可発表 ※各大学の状況に応じてこの日までに設 定。	
随時		追加募集許可者の受講登録	所属大学で随時
7月24日(月) ～ 8月1日(火)	【再追加募集】	再追加募集対象科目の選考 ＜科目提供大学＞	
8月17日(木) 17:00【厳守】		再追加募集対象科目の報告 ＜各大学→事務局大学＞ ※後期科目を対象とする。	所定フォーマット
8月21日(月)		再追加募集対象科目一覧の送付 ＜事務局大学→各大学＞	
8月22日(火) ～ 8月29日(火)		再追加募集受付 ＜各大学＞ ※許可発表以前に開講される科目は、仮 受講を認める。	各大学の状況に 応じて設定
9月1日(金) 17:00【厳守】		再追加募集「出願票」提出期限 ＜各大学→科目提供大学＞	
9月4日(月) ～ 9月8日(金)		再追加出願者の選考 ＜科目提供大学＞	所定フォーマット
～9月12日 (火) 17:00【厳守】		再追加募集選考結果連絡 ＜科目提供大学→学生所属大学および 事務局大学＞	所定フォーマット
9月15日(金) ～ 9月21日(木)		許可発表 ※各大学の状況に応じてこの日までに設 定。	
随時		再追加募集許可者の受講登録	所属大学で随時

《 2023 年度提供科目一覧 》 提供科目数 67 科目(2022 年度提供科目数:64 科目)

	開講 キャンパス	科目 番号	科目名	担当者 (フルネーム)	単位	回生	単位互換定員	開講期間	曜日	時限	授業期間 (初回講義日～最終講義日)	授業時間帯	実施方法
滋賀大学	大津	1	福祉と教育	羽山 裕子	2	1以上	若干名	春学期	火	2	2023年4月11日～2023年7月18日	2時限(10:30～12:00)	
	大津	2	日本と世界の文化	江崎 麻里	2	1以上	若干名	春学期集中			未定	未定	
	大津	3	宇宙と地球	大山 政光	2	1以上	若干名	秋学期	火	3	2023年10月3日～2024年1月23日	3時限(12:50～14:20)	
	彦根	4	経営学からの問い	柴田 淳郎	2	1以上	若干名	春学期	火	4	2023年4月11日～2023年7月18日	4時限(14:30～16:00)	
	彦根	5	アントレプレナーシップⅠ	上田 雄三部	2	1以上	若干名	春学期	木	5	2023年4月13日～2023年7月20日	5時限(16:10～17:40)	
	彦根	6	歴史からの問い	坂野 鉄也	2	1以上	若干名	春学期	金	2	2023年4月7日～2023年7月21日	2時限(10:30～12:00)	
	彦根	7	数学的思考	大瀧 巖	2	1以上	若干名	春学期	金	5	2023年4月7日～2023年7月21日	5時限(16:10～17:40)	
	彦根	8	日本社会の法と政治	宗野 隆俊	2	1以上	若干名	秋学期	水	4	2023年10月4日～2024年1月24日	4時限(14:30～16:00)	
	彦根	9	メディアと情報	中塚 智子	2	1以上	若干名	秋学期	木	4	2023年10月5日～2024年1月25日	4時限(14:30～16:00)	
	彦根	10	アントレプレナーシップⅡ	上田 雄三部	2	1以上	若干名	秋学期	火	4～5	2023年10月3日～2024年1月23日	4時限(14:30～16:00) 5時限(16:10～17:40)	
滋賀医科大学		11	哲学入門	室寺 義仁	2	1以上	10	前期	火	2	2023年4月11日～2023年8月1日	2時限(10:35～12:05)	対面・遠隔併用
		12	医療イノベーションの基礎	磯部 義明	2	1以上	若干名	前期	水	4	2023年4月12日～2023年7月26日	4時限(14:40～16:10)	対面・遠隔併用
滋賀県立大学		13	おうみ学生未来塾(湖東)	上田 洋平	2	2以上	30名(全定員)	夏期集中	－	－	2023年9月中旬から3日間(未定)	1-5時限(9:00～18:00) フィールドワーク有	対面授業
		14	SDGsと滋賀のグローバル・イノベーション～近江の暮らしとつながり～	上田 洋平	2	1以上	100名(全定員)	夏期集中	－	－	2023年8月18日(金)、19日(土)、20日(日)	1-5時限(9:00～18:00)	対面授業
		15	地域コミュニケーション論	上田 洋平	2	1以上	10名程度	春期集中	－	－	2024年2月9日(金)、10日(土)、11日(日)	1-5時限(9:00～18:00)	対面授業
		16	世界遺産のまちづくり・ひとづくり	上田 洋平	2	1以上	10名程度	後期	月	3	2023年10月2日～2024年1月29日 (期間中、土日開講一部あり)	3時限(13:10～14:40)	対面授業
		17	びわこ環境行政論	堀 啓子	2	1以上	10名程度	後期	月	4	2023年10月2日～2024年1月29日	4時限(14:50～16:20)	対面授業
		18	地域産業・企業から学ぶ社長講義	高松 徹	2	1以上	10名程度	後期	月	4	2023年10月2日～2024年1月29日	4時限(14:50～16:20)	対面授業
滋賀短期大学		19	近江学入門	秋山 元秀	2	1以上	若干名	前期	木	1	2023年4月13日～2023年7月20日	1時限(9:00～10:30)	
		20	数の不思議	久米 央也	2	1以上	若干名	後期	木	1	2023年9月28日～2024年1月11日	1時限(9:00～10:30)	
		21	ラッピング演習	灰藤友理子	1	1以上	若干名	後期	火	2	2023年9月26日～2024年1月16日	2時限(10:40～12:10)	
		22	地域づくり論	江見 和明	2	1以上	若干名	後期	水	2	2023年9月27日～2024年1月17日	2時限(10:40～12:10)	
		23	地域ビジネス論	江見 和明	2	1以上	若干名	後期	金	4	2023年9月29日～2024年1月19日	4時限(15:00～16:30)	
滋賀文教 短期大学		24	地域の歴史と民俗文化	中島誠一	2	2以上	若干名	前期	金	2	2023年4月14日～2023年7月28日	2時限(10:45～12:15)	
成安造形大学		25	近江学A(大学連携・地域連携型PBL科目「おうみ学生未来塾(湖西)」)	加藤賢治 仁達孝昭	2	1以上	若干名	前期集中	－	－	2023年8月下旬～9月上旬予定	未定(フィールドワーク有り)	
		26	デザイン史概説A	島京一	2	1以上	若干名	前期	火	1	2023年4月18日～2023年7月25日	1時限(9:00～10:40)	
		27	デザイン史概説B	島京一	2	1以上	若干名	後期	火	1	2023年10月3日～2024年1月16日	1時限(9:00～10:40)	
		28	東洋・日本美術史概説A	小崎善通	2	1以上	若干名	前期	水	1	2023年4月19日～2023年7月26日	1時限(9:00～10:40)	
		29	東洋・日本美術史概説B	小崎善通	2	1以上	若干名	後期	水	1	2023年10月4日～2024年1月17日	1時限(9:00～10:40)	
		30	西洋美術史概説A	千達敏男	2	1以上	若干名	前期	木	1	2023年4月20日～2023年7月27日	1時限(9:00～10:40)	
		31	西洋美術史概説B	千達敏男	2	1以上	若干名	後期	木	1	2023年9月28日～2024年1月18日	1時限(9:00～10:40)	
聖泉大学		32	滋賀論	森 雄二郎	2	2以上	若干名	前期集中			未定	未定	
		33	心理学概説A	李 艶	2	1以上	若干名	前期			未定	未定	
		34	発達心理学	池田 龍也	2	1以上	若干名	後期			未定	未定	
		35	知覚・認知心理学	鈴木 雅洋	2	2以上	若干名	前期			未定	未定	
長浜バイオ 大学		36	生物学基礎	岩本 昌子	2	1以上	5名以内	前期	水	2	2023年4月12日～2023年7月26日	2時限(11:10～12:40)	対面授業
		37	基礎微生物学	石川 聖人	2	1以上	5名以内	前期	火	1	2023年4月11日～2023年7月18日	1時限(9:30～11:00)	対面授業
		38	遺伝子工学	石川 聖人	2	1以上	5名以内	後期	金	1	2023年9月29日～2024年1月26日	1時限(9:30～11:00)	対面授業
		39	近江でのSDGsの実践	蔡 晃植、他	2	1以上	10名程度	後期集中	土	－	未定	未定	対面授業
びわこ学院 大学		40	子ども学総論	島野 猛 奥田 愛子 渡辺 雅幸	2	1以上	若干名	春学期			未定	未定	
		41	滋賀の環境	佐々木 和之	2	1以上	若干名	秋学期			未定	未定	
		42	スポーツ生理学Ⅱ	高木 俊	2	2以上	若干名	春学期			未定	未定	
		43	メンタルトレーニング論	竹内 早耶香	2	2以上	若干名	春学期			未定	未定	
		44	レクリエーション論	山ノ井 勉	2	1以上	若干名	春学期			未定	未定	
		45	生活と福祉	山ノ井 勉	2	1以上	若干名	秋学期			未定	未定	
びわこ成蹊 スポーツ大学		46	栄養と健康	武田 哲子	2	1以上	若干名	前期	水	1	2023年4月12日～2023年7月19日	1時限(9:00～10:40)	
		47	スポーツ社会学概論	佐藤 馨	2	1以上	若干名	後期	月	4	2023年9月25日～2024年1月22日	4時限(15:00～16:40)	
		48	レジャー・レクリエーション論	佐藤 馨	2	1以上	若干名	前期	水	3	2023年4月12日～2023年7月19日	3時限(13:10～14:50)	
		49	スポーツバイオメカニクス	高橋 佳三	2	1以上	若干名	前期	金	4	2023年4月14日～2023年7月21日	4時限(15:00～16:40)	
びわこリハビリ テーション専門職 大学		50	哲学入門	堀 寛史	1	1以上	若干名	前期前半 (6週間)	水	3	2023年4月12日～2023年6月7日	3時限(13:20～14:50)	

龍谷大学	51	植物生理・生化学Ⅰ	古本 強	2	1以上	20	後期	水	1	2023年9月20日～2024年1月17日	1講時(9:15～10:45)	
	52	食と嗜好の科学	山崎 英恵 他	2	1以上	20	後期	月	2	2023年9月25日～2024年1月15日	2講時(11:00～12:30)	
	53	食の文化論	尾崎 智子	2	2以上	20	前期	火	2	2023年4月11日～2023年7月18日	2講時(11:00～12:30)	
	54	生活の中の数学	荒井 徳充	2	1以上	15	前期	金	5	2023年4月7日～2023年7月21日	3講時(13:30～15:00)	
	55	里山学	宮浦 富保 他	2	1以上	10	前期	月	3	2023年4月10日～2023年7月24日	3講時(13:30～15:00)	
	56	環境の科学	奥田 哲士	2	2以上	20	後期	月	2	2023年9月25日～2024年1月15日	2講時(11:00～12:30)	
	57	社会人類学	橋原 敦子	2	2以上	不問	前期	金	2	2023年4月7日～2023年7月21日	2講時(11:00～12:30)	
	58	びわ湖・滋賀学	脇田 健一	2	2以上	5名以内	夏期集中	集中	集中	調整中	調整中	
	59	環境社会学	関 美芳	2	2以上	不問	後期	月	2	2023年9月25日～2024年1月15日	2講時(11:00～12:30)	
	60	コミュニティ論	坂本 清彦	2	1以上	不問	後期	火	4	2023年9月19日～2024年1月9日	4講時(15:15～16:45)	
	61	社会貢献論	川中 大輔	2	2以上	不問	前期	木	2	2023年4月13日～2023年7月27日	2講時(11:00～12:30)	
立命館大学	62	経済学特殊講義Ⅱ(金融・証券分析基礎)	三好 秀和	2	2以上	10名程度	夏集中Ⅰ	-	-	2023年8月28日～2023年9月2日	未定	対面授業
	63	ソーシャルデザイン論	永野 聡	2	1以上	10名程度	春学期	木	3	2023年4月6日～2023年7月20日	3時限(13:00～14:30)	Web授業
	64	近現代の科学技術	船山 恵 鈴木 健一郎	2	1以上	10名程度	春学期	水	2	2023年4月12日～2023年7月19日 ※6/3(土)は水曜授業実施日	2時限(10:40～12:10)	対面・Web併用 (授業回によって異なる)
	65	生命科学概論	加藤 稔	2	1以上	10名程度	春学期	月	5	2023年4月10日～2023年7月17日	5時限(16:20～17:50)	対面授業
	66	薬学概論	浅野 真司	2	1以上	2名程度	春学期	火	1	2023年4月11日～2023年7月18日	1時限(9:00～10:30)	対面授業
	67	スポーツマネジメント論	長積 仁	2	2以上	10名程度	秋学期	木	4	2023年4月6日～2023年7月20日	4時限(14:40～16:10)	対面授業

3. 2023 年度事業予算案

＜内訳＞

広報(ポスター、パンフレット) 40 万円 (50 万円)

おうみ学生未来塾開講運営費用 60 万円 (90 万円)

(1 大学 30 万円×2 大学)

計 100 万円 (140 万円)

※()は 2022 年度予算

以 上